

1. 高校生の進路状況

【 H22 年度 全国の高校卒業者の進路 】

	男子	女子
大学	51.4 %	44.2 %
短大	1.1 %	11.0 %
専門学校	12.7 %	19.2 %
就職	18.3 %	12.9 %

【 H23 年 4 月 鹿沼南高校生の希望進路 】

	1 年	2 年	3 年
大学	20.7 %	14.7 %	19.6 %
短大	8.9 %	10.7 %	7.6 %
専門学校	27.6 %	27.9 %	22.8 %
就職	42.9 %	46.7 %	50.0 %

全国の高校生の進路は、大学進学者の割合が年々増加し、平成 22 年度では 50% 近くになっています。一方、鹿沼南高校生の希望進路は、就職の割合が最も多く、3 年生では 50% になっています。

進路の選択にあたっては、本人の興味・関心・適性等をもとに、将来の人生設計（長期的な視野）や社会状況も考慮に入れながら、ご家庭で話し合ってください。その際、進路に関する相談等がありましたら、遠慮なく担任に相談してください。

2. 進学について

(1) 進学のための学習について

進学には、目標とする上級学校に応じた学力を身に付けることが必要となります。学力の向上のためには、日々の学習の積み重ねが重要です。「継続は力なり」の言葉通りですが、それを実行に移すことは容易ではありません。以下に、基本的なポイントを記しますので、ご確認ください。

- 1) 目標を決める。
……どの学校に進学したいか、どれだけの学力を身に付けるか。
- 2) 授業を大切に作る。
……授業に真剣に取り組む。授業の予習・復習（国語・数学・英語や受験に必要な科目等）をする。
- 3) 毎日必ず机に向かう。
……学習を習慣化する。1 日の生活パターンを決め、その中に家庭学習の時間を組み込む。
- 4) 毎日やることを決める。
……学習する内容や教材を決めたら、それを徹底してやる。
- 5) わからないことは聞く。
……わからない点は先生に質問し、また学習方法について相談する。

学習の効果は、すぐに現れるものではありません。しかし、辛抱して努力を続ければ、それが蓄積されたある時期に、目に見える成果として実を結ぶはずですが。大学を受験するにしても、まずは基礎・基本を確実にすることが大切であり、その上の段階として応用的な学習が可能になるわけです。

(2) 入試方法について

入試では、学力だけではなく部活動・生徒会や農業クラブの活動・資格・表彰・ボランティア活動など、高校生活で一生懸命に取り組んだ活動を評価するものもあります。学校によって様々な入試方法がありますので、目標とする学校の入試方法を調べる必要があります。

- 1) 推薦入試……推薦基準をもとに、高校から推薦を受けた生徒を対象とする。
- 2) AO入試……自己推薦の形式で、個性や学ぶ意欲のある生徒を対象とする。
- 3) 一般入試
 - 国公立大学……センター試験と各大学の 2 次試験で、合否を判定する。
 - 私立大学……各大学の学力試験で合否を判定する。また、センター試験を利用できる大学も増加している。

(3) その他

- 1) 高校生の成長には、どの科目の授業も大切です。入試科目に限らず、すべて授業に真剣に取り組むこと

が大切です。

- 2) 入試においても、科目を少なくすると、選択の幅が狭くなります。受験科目は、生徒が希望する学校がすべて受けられるように設定する必要があります。
- 3) 推薦で合格しても、一般入試で合格できる学力がないと、入学後に困ることになります。
- 4) 学費等の必要経費をお調べください。必要な場合は、奨学生制度や特待生制度をご利用ください。

3. 就職について

(1) 就職の状況

【 県立高校の就職内定率の推移 】

	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成19年度	58.3%	79.1%	89.2%	93.3%	95.3%	97.5%	99.5%
平成20年度	61.0%	79.3%	87.4%	91.3%	93.7%	95.4%	97.3%
平成21年度	44.0%	65.7%	78.5%	85.4%	89.5%	93.6%	95.9%
平成22年度	50.4%	71.1%	82.9%	89.7%	93.4%	96.6%	98.6%

リーマンショック以後の不況の影響により、平成21・22年度の2年間、高校生の就職は厳しい状況となりました。栃木県においても製造業をはじめ、販売・サービス業等多くの職種で求人が減少しました。平成23年度は、東日本大震災の影響から経済や雇用はさらに厳しい状況になると考えられます。

平成22年度の旧鹿沼農業高校については、生徒の就職指導を早期に開始し、またハローワークと協力体制をとったことにより、正社員希望者については全員の内定を得ることかできました。現在、鹿沼南高校におきましても、生徒の就職を実現するために指導に力を入れております。

(2) 就職のしくみ

① 学校を通じた就職

学校では、ハローワークで受付をした求人について、生徒に紹介することにしております。指定の求人票には勤務条件・仕事内容・福利厚生等が記されており、ハローワークが企業に必要な指導をすることになっております。例年、7月1日から求人が始まり、9月16日から採用試験が始まります。

なお、生徒に企業を紹介する際には、校内の推薦委員会等の手続きをへて、学校からの推薦という形で紹介しております。

② 自己就職

学校やハローワークを通さずに、縁故等により就職する場合を自己就職といいます。その際も、先方の企業に求人票を出してもらうことをお勧めします。

(3) 就職のために必要なこと

企業が高校卒業予定者に求める人材とは、どのようなものでしょうか。多くの企業では「学校生活に意欲的に取り組む、高校生らしい好人物」を採用の基準としています。つまり、生徒がどのような学校生活を送っているかを評価するわけです。学習はもちろん特別活動（部活動など）にも積極的に、明るく前向きな生徒は、ほとんどが第一希望で内定をいただいています。以下に、基本的なポイントを記しますので、ご確認ください。

- 1) 基礎学力 ……学校の授業やテストを大切にし、真剣に取り組む。
- 2) 基本的な生活習慣 ……欠席・遅刻をしない。早寝早起きをする。
- 3) あいさつ、礼儀 ……普段の生活から、あいさつ・言葉遣い・礼儀作法をしっかりと行う。
- 4) 意欲的な姿勢 ……学校・家庭においても、仕事に率先して取り組む姿勢を身に付ける。
- 5) 人間性 ……自分の長所を伸ばし、短所は改める。素直な心で向き合い、謙虚に努力する。

(4) その他

- 1) 就職の場合は、社会に出るための準備を、高校生活を通してすることになります。一般常識やマナーを身に付けたり、精神的にも大人として成長する必要があります。
- 2) 就職先を選ぶ場合は、地域、業種・職種、企業などについて、幅をもたせて話し合ってください。求人が少ない場合は、地域を広げたり、別の職種も考慮に入れることになります。
- 3) 就職に限りませんが、本をたくさん読んで知識を得ること、ニュースを見聞きして社会の動きを知ることとはとても大切です。ご家庭でもご指導をお願いいたします。